

臨床レポート



鹿児島市 濱田歯科 濱田 直光

上顎無歯顎インプラント処置における暫間補綴に MTI ミニインプラントを使用した症例

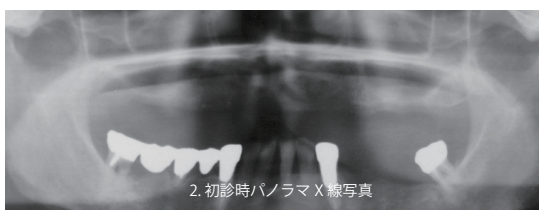
処置直後のインプラント体への異常な外力により、インプラントの骨結合が妨げられることがアスペンバークらによって報告されている¹⁾。強固なオッセointegrेशनを獲得するためには、顎堤の骨質の状態や部位によっては、待時期間が必要な場合があると考えられる。また、処置後の一次治癒が最優先され、補綴物が装着されない場合には、治療期間中の患者の咀嚼・発音機能・審美性などが犠牲にされる結果となる。一方、患者のQOLに配慮して有床義歯が選択された場合、治療期間中に頻回の義歯調整が必要とされるばかりでなく、インプラントの予知性の低下が懸念されることがレナードらによって報告されている²⁾。特に吸収の著しい上顎の多数歯欠損症例へのインプラント処置は困難であり、しかも免荷期間中の患者のQOLを良好に維持するためには、頻回な調整を必要とする可撤性義歯よりも固定性の方が優れていると考えられる。今回、上顎無歯顎のインプラント治療において、患者のQOLの維持とインプラントの保護を目的とし、永田が紹介したMTIミニインプラント (Dentatus / 株式会社インプラテックス) を使用して固定性遊離端有床義歯 (Free-End Saddle-Bridge^{3,4)} 以下 FESB) を暫間補綴に適用し⁵⁻⁷⁾、良好な結果が得られたので報告する。

患者は65才女性、入れ歯に不満を持ちインプラント希望で来院した。断層撮影写真での診査により、上顎前歯部の歯槽骨の水平的骨幅が不足しており、また、臼歯部においては上顎洞底が下降して垂直的な骨幅が3mm以下の状態であった。下顎左側欠損部に3本、上顎前歯部にスプリットクレスト、上顎臼歯部に永田らが紹介した上顎洞底挙上術 (Hydraulic sinus floor elevation technique) と骨のSwagingを併用したフラップレスでの一回法インプラント埋入⁸⁾を適用し、SwissPlus (Zimmer Dental) を8本植立した。同時にMTIミニインプラントを5本植立し、暫間補綴装置として、主インプラントに接触しないようリリーフした暫間FESBを作製してグラスアイオノマーセメントにて装着した。待時期間終了後、最終補綴に移行し、装置装着と同時に暫間FESBならびにMTIミニインプラントを撤去した。

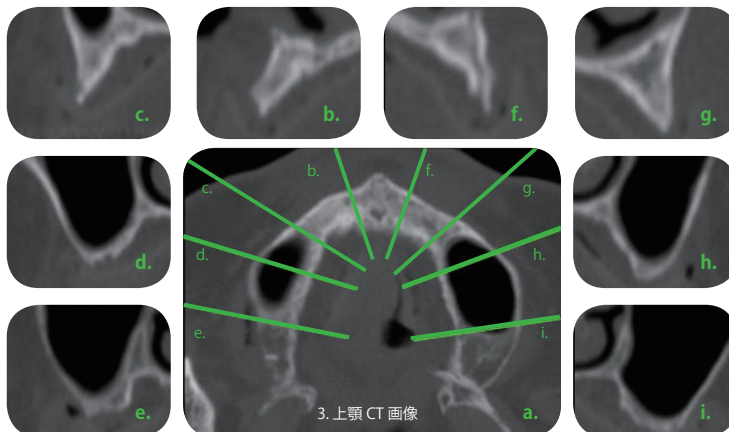
上部構造装着後2年が経過し、患者の満足が得られており、現在メンテナンスを行っている。上顎無歯顎へのGBR併用のインプラント処置に、MTIミニインプラントを使用したFESBを暫間補綴に適用することにより、複合外科処置が同日で行えた。また、審美性の向上ならびに発音、咀嚼など口腔機能の維持が可能となり、QOLを良好に保ちながら最終補綴までの処置を円滑に進めることが出来た。



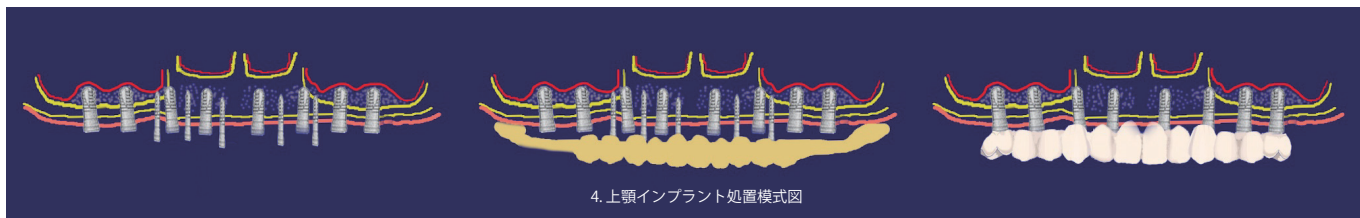
1. 初診時口腔内写真



2. 初診時パノラマX線写真



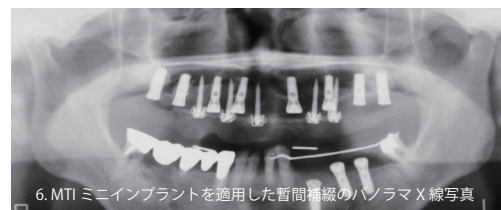
3. 上顎 CT 画像



4. 上顎インプラント処置模式図



5. MTIミニインプラントを適用した暫間補綴の口腔内写真



6. MTIミニインプラントを適用した暫間補綴のパノラマX線写真



7. 上部構造装着2年後の口腔内写真



8. 上部構造装着2年後のパノラマX線写真

参考文献

- 1) Aspenberg, P. Goodman, S. Toksvig-Larsen, S. Ryde, L. and Albrektsson, T.: Intermittent micromotion inhibits bone ingrowth; Titanium implant in rabbits; Acta Orthop. Scand., 63(2), 141 ~ 145, 1992.
- 2) Renouard, F. and Rangert, B.: Risk factors in implant dentistry, 1st ed.; Quintessence Publishing Co. Inc., Chicago, 50, 1999.
- 3) Izikowitz L: A long-term prognosis for the free-end saddle - bridge. J Oral Rehabil 12: 247 ~ 262, 1985.
- 4) 濱田直光, 永田 睦, 濱田敦子. 固定性遊離端有床義歯を最終補綴として応用した重度歯周病症例. 補綴誌 2006; 50: 534-541.
- 5) 永田 睦, 濱田直光, 濱田敦子. 遊離端サドルブリッジによるインプラント暫間補綴. 日口腔インプラント誌 2003; 16: 89-94.
- 6) 濱田直光. 固定性遊離端有床義歯改良型を暫間補綴として適用したインプラント症例. 補綴誌 2010; 2: 118-121.
- 7) 永田 睦: 暫間ミニインプラント. 永末書店, 東京. 2007.
- 8) 永田 睦: Bone Swaging と Hydraulic Sinus Floor Elevation Technique を併用した一回法インプラント埋入法. 日本口腔インプラント学会, Vol.22:240, 2009